

# サンプル／出題傾向と出題予想

2級 電気工事施工管理

実地試験

問題2－1 語句記述

◎は、予想が的中したものです。

	H30重点	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18
◇ 安全管理			◇		◇		◇		◇			◇	
安全施工サイクル			◎				○						
ツールボックスミーティング TBM			◎				◎		○				
安全パトロール	○						◎		◎			○	
KYK（危険予知活動）	○				◎				◎			○	
ヒヤリハット運動	○								◎			○	
4S運動	○				◎				◎			○	
新規入場者教育			◎		◎				○				
高所作業車での作業	○						○						
脚立作業の危険防止	○						◎					○	
電動工具の使用	○						○						
墜落災害の防止対策			○		○								
飛来落下災害の防止			○		○								
感電災害の防止対策			○		○								
◇ 施工管理		◇		◇		◇		◇		◇	◇		◇
電動機への配管配線接続		◎				○					○		
露出配管・電線管の施工								◎			◎		
低圧ケーブルの敷設		○											
ケーブルの施工						◎		◎			◎		
機器の取付け				◎		◎		◎					○
分電盤の取付け		○											
盤への電線の接続				◎		◎		◎			◎		○
機器の搬入										○			
材料の受入検査		◎				◎				○			
機械・工具の取扱い		◎		◎						○			○

# サンプル／これだけ項目集 電気工事 2級実地

## 問題 2－1 語句記述

### ◇ 安全管理

2電気 実地 H28-2-1-2 H24-2-1-2 H22-2-1-1

#### TBM ツールボックスミーティング

- ツールボックスミーティング（TBM）とは、作業前に作業予定、手順、安全の確認、留意点などについて作業員同士話し合うことである。
- ミーティングで、KYKを行ったり、初歩的なミスの防止、危険箇所の明示、安全基本動作の総点検などを実施する活動である。

2電気 実地 H26-2-1-1 H22-2-1-2 H19-2-1-1

#### KYK 危険予知活動

- ミーティングや職場内研修を通じ、危険性の情報を共有することで、予測できる災害・事故の発生を未然に防止させる仕組みである。
- 毎日の始業時や動作時に指差喚呼を行い危険性の再確認をし、さらに安全性を高める行動として行われている。
- 安全点検事項を確認させる訓練として、作業手順を頭に浮かべ、墜落・はさまれ・巻き込まれ・飛来落下・切れ・こすれ・転倒・激突・腰を痛める・感電などの危険現象を、作業員に自問させる方法が用いられている。

2電気 実地 H28-2-1-3 H26-2-1-3 H22-2-1-6

#### 新規入場者教育

- 新規入場者カードに、連絡先や本人の健康状態、持っている免許資格などを記入させることで、無資格による違反の排除や重点項目などが、入場時に徹底・確認できる。
- 自分自身の体調などにも自分の責任、自己管理を認識させる。
- 元請以外に他社の職長からの指導も受け入れられるよう、他職の作業員にも新規入場者を紹介することも重要である。
- 現場内の機械、材料の危険性、取り扱い方法について教育を行う。
- 作業手順、作業開始時の点検項目について教育を行う。
- 整理整頓、清潔の保持、事故時の応急処置などについて教育を行う。